

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 2 月 10 日(2025.2.10)

【国際公開番号】WO2024/069928
【出願番号】特願 2024-549024(P2024-549024)
【国際特許分類】
H 0 1 F 27/30(2006.01)
【F I】
H 0 1 F 27/30 1 6 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 11 月 25 日(2024.11.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

コイルと、
前記コイルの内部に收容された磁性体コアと、
前記磁性体コアが軸心方向において前記コイル内に位置するように、前記磁性体コアを
前記コイルに固定しておく固定手段と、を有することを特徴とするコイル部品。

【請求項 2】
前記コイルにおける前記軸心方向の両端部は、前記磁性体コアの全体よりも前記軸心方
向の外側にあり、前記磁性体コアは、前記軸心方向において前記コイル内に収まっており

—
前記固定手段は、前記両端部における前記コイルの巻線である巻き端部であり、前記巻
き端部における前記コイルの巻回内径が、前記磁性体コアにおける前記巻き端部に対向す
る上面及び下面のそれぞれの外径より小さい請求項 1 に記載のコイル部品。

30

【請求項 3】
前記コイルにおける前記軸心方向の両端部は、前記磁性体コアよりも前記軸心方向の外
側にあり、

前記固定手段は、前記両端部における前記コイルの巻線である巻き端部であり、
前記コイルの前記両端部が、前記磁性体コアにおける前記巻き端部に対向する上面及び
下面にそれぞれ面接触して前記磁性体コアの前記上面及び前記下面を前記軸心方向の両側
から当該コイルの弾性復元力により押圧している請求項 1 に記載のコイル部品。

【請求項 4】
前記磁性体コアよりも透磁率の低い被覆体をさらに備え、
前記被覆体は、前記コイル及び前記磁性体コアを包摂している請求項 1 から 3 のいずれ
か一項に記載のコイル部品。

40

【請求項 5】
前記コイルにおける前記軸心方向の少なくとも一方の端部は、前記磁性体コアよりも前
記軸心方向の外側にあり、

前記固定手段は、前記少なくとも一方の前記端部における前記コイルの巻線である巻き
端部であり、

前記軸心方向に見たときの前記端部と前記磁性体コアとの重なり幅は、前記コイルの線
幅の 1 / 2 よりも小さい、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のコイル部品。

50